

**■ 営業実績 (国内;単体ベース)**

		前年比(%)
既存店	日商	95.1
	客数	86.8
	客単価	109.6
全店	売上高	95.5

※ 既存店前年比は、カード・チケットの影響を除いた数値です。

**■ 店舗数**

	当月	年度累計	国内計 (AFC含)	海外AFC計	国内外合計
出店	7	186	/	/	/
閉店	12	137			
純増減	-5	49			
<b>月末店舗数</b>	<b>15,735</b>	<b>15,735</b>	<b>16,658</b>	<b>8,316</b>	<b>24,974</b>

**■ AFC別月末店舗数**

沖縄	南九州	JR九州R	国内AFC計
329	389	205	<b>923</b>

**当月の総括**

緊急事態宣言が再発令され、引き続き都心部のオフィス立地や観光地等で影響は見られるものの、昨年4月の発令時と比較すると、影響度合いは少なくなっている。

また、帰宅時間の早まり等から、夜間の弁当・調理麺・惣菜などの中食や酒の売上が伸長したに加え、700円以上購入によるスピードくじの後押しもあり、客単価は好調に推移した。

正月に放映されたテレビ番組の影響で、特に番組内で紹介された「四川風麻婆豆腐」「じゅわっと肉汁!!!鉄板焼ハンバーグ」が好調に推移し、惣菜の既存比押上げに貢献した。

<b>【惣菜】</b>	テレビ放映で紹介された商品や、自宅での食事需要再拡大に伴い「お母さん食堂」総菜シリーズが好調に推移し前年をクリアした。
<b>【冷凍食品】</b>	「お母さん食堂」の冷凍野菜シリーズが引き続き好調に推移した。
<b>【デザート】</b>	TV放映で紹介された商品や1/19から発売したいちご関連商品が好調に推移した。
<b>【日配・生鮮品】</b>	野菜価格高騰に伴いカット野菜の需要が高まり好調に推移した。
<b>【酒】</b>	酒税改正により好調なビールや新ジャンルのほか、チューハイのオリジナル商品のヒットなどもあり前年をクリアした。